



2014年医学部第2問

1枚目/2枚

2 0以上の整数nに対して,

$$g_n(x) = e^{-n}(x-n)(n+1-x)$$

とおく。次の問いに答えよ。

- (1) $n \leq x \leq n+1$ において、曲線 $y = g_n(x)$ 上の点 $(\alpha, g_n(\alpha))$ における接線の傾きが $-g_n(\alpha)$ となる α を求めよ。
- (2) $f(x) = ce^{-x}$ ($c > 0$) とおく。曲線 $y = f(x)$ が曲線 $y = g_n(x)$ と共有点をもち、その点におけるそれぞれの曲線の接線が一致するような c を求めよ。
- (3) 曲線 $y = g_n(x)$ と(2)で求めた曲線 $y = f(x)$ の共有点を P_n とし、点 P_n における $y = f(x)$ の接線を ℓ_n とする。また、 ℓ_n と x 軸との交点を Q_n とする。曲線 $y = f(x)$ と接線 ℓ_n 、および点 Q_n を通り y 軸に平行な直線で囲まれた部分の面積を S_n とする。 $\lim_{n \rightarrow \infty} (S_0 + S_1 + \dots + S_n)$ を求めよ。

$$(1) g_n(x) = -e^{-n}(x-n)\{x-(n+1)\}$$

$$= -e^{-n}\{x^2 - (2n+1)x + n(n+1)\}$$

$$\therefore g_n'(x) = -e^{-n} \cdot (2x - 2n - 1)$$

$$g_n'(\alpha) = -g_n(\alpha) \text{ より} \quad -e^{-n} \cdot (2\alpha - 2n - 1) = e^{-n}\{\alpha^2 - (2n+1)\alpha + n(n+1)\}$$

$$\therefore e^{-n}\{\alpha^2 - (2n+1)\alpha + n^2 - n - 1\} = 0 \quad e^{-n} > 0 \text{ より} \quad \alpha = \frac{2n+1 \pm \sqrt{(2n+1)^2 - 4(n^2 - n - 1)}}{2}$$

$$\therefore \alpha = n - \frac{1}{2} \pm \frac{\sqrt{5}}{2} \quad n \leq \alpha \leq n+1 \text{ より} \quad \alpha = n + \frac{\sqrt{5}-1}{2}$$

(2) 共有点の x 座標を β とおくと、 $f(\beta) = g_n(\beta)$ かつ $f'(\beta) = g_n'(\beta)$

$$\therefore ce^{-\beta} = -e^{-n}\{\beta^2 - (2n+1)\beta + n(n+1)\} \quad \cdots ①$$

$$-ce^{-\beta} = -e^{-n}(2\beta - 2n - 1) \quad \cdots ②$$

$$① + ② \text{ の方程式は (1) で考えたものと同じなので } \beta = n + \frac{\sqrt{5}-1}{2}$$

$$① \text{ に代入すると, } ce^{-n-\frac{\sqrt{5}-1}{2}} = -e^{-n}\left\{n^2 + (\sqrt{5}-1)n + \frac{6-2\sqrt{5}}{4} - (\sqrt{5}-1)n - 2n^2 - n - \frac{\sqrt{5}-1}{2} + n^2 + n\right\}$$

$$\text{これを解いて, } c = (\sqrt{5}-2)e^{\frac{\sqrt{5}-1}{2}}$$

2枚目につづく



2014年医学部第2問

2枚目/2枚

数理
石井K

2 0以上の整数 n に対して,

$$g_n(x) = e^{-n}(x-n)(n+1-x)$$

とおく。次の問い合わせよ。

- (1) $n \leq x \leq n+1$ において、曲線 $y = g_n(x)$ 上の点 $(\alpha, g_n(\alpha))$ における接線の傾きが $-g_n(\alpha)$ となる α を求めよ。
- (2) $f(x) = ce^{-x}$ ($c > 0$) とおく。曲線 $y = f(x)$ が曲線 $y = g_n(x)$ と共有点をもち、その点におけるそれぞれの曲線の接線が一致するような c を求めよ。
- (3) 曲線 $y = g_n(x)$ と(2)で求めた曲線 $y = f(x)$ の共有点を P_n とし、点 P_n における $y = f(x)$ の接線を ℓ_n とする。また、 ℓ_n と x 軸との交点を Q_n とする。曲線 $y = f(x)$ と接線 ℓ_n 、および点 Q_n を通り y 軸に平行な直線で囲まれた部分の面積を S_n とする。 $\lim_{n \rightarrow \infty} (S_0 + S_1 + \dots + S_n)$ を求めよ。

(3) $n \leq x \leq n+1$ において、 $g_n(x) \geq 0$ であり、 $g_n(n) = g_n(n+1) = 0$

また、 $f(x)$ は(2)より単調減少かつ $f(x) > 0$

∴ グラフは右のようになる。

∴ P_n の x 座標を(1)で求めた d で表すと。

$$\begin{aligned}\ell_n: \quad y &= f(d)(x-d) + f(d) \\ &= -ce^{-d}(x-d) + ce^{-d} \\ &= -ce^{-d}x + (d+1)ce^{-d}\end{aligned}$$

$$\therefore Q_n(\alpha+1, 0)$$

$$\begin{aligned}\therefore S_n &= \int_{\alpha}^{\alpha+1} ce^{-x} + ce^{-d}x - (d+1)ce^{-d} dx \\ &= \left[-ce^{-x} + \frac{1}{2}ce^{-d}x^2 - (d+1)ce^{-d}x \right]_{\alpha}^{\alpha+1} \\ &= -ce^{-\alpha-1} + \frac{1}{2}ce^{-d} \\ &= \frac{(e-2)(\sqrt{5}-2)}{2e} e^{-n}\end{aligned}$$

無限等比級数

$$\lim_{n \rightarrow \infty} (S_0 + S_1 + \dots + S_n) = \frac{(e-2)(\sqrt{5}-2)}{2e} \cdot \frac{1}{1 - \frac{1}{e}} = \frac{(e-2)(\sqrt{5}-2)}{2(e-1)} //$$

